

初めての参加が8名も

関西四極会



フレット来夢のマンダリン演奏と甲斐恵子さんの歌声に酔いしれた

平成30年度関西四極会総会は、4月22日(日)大阪ガーデンパレスにて、会員59名の出席のもと、昨年に引き続き日曜日に開催された。今回初めての試みとして、「夫婦同伴での参加」の声かけを行い、野中千尋さん(大21)が初の夫婦参加者となった。

司会者坊垣巖さん(大39)の開会宣言に始まり、まず物故者へのご冥福を折り黙祷を捧げた。

大石哲史会長(大22)からは、一期2年経過したが、会員皆様のお力添えを頂いたおかげでやってこられたことへの御礼及び歓談を優先して一日楽しんでくださいとの挨拶があった。

ご来賓の挨拶を、野々下俊昭四極会理事(大12)、玉井鉄之四極会本部理事(大25)並びに大崎美泉大分大学経済学部長より頂戴した。

野々下理事からは、石川公一四極会会長の100周年に向けての意気込みを語って頂いた後、本部と支部のあり方を考える実行委員会の設置、同窓会参加者減少への対応、女性会員増

加への対応(女性理事2名選出)についてのお話があった。

玉井理事からは、100周年記念募金目標一億円達成へ向けての協力依頼があった。

大崎経済学部長からは、昨年4月経済学部新たに第4の学科「社会イノベーション学科」を新設し、社会で活躍できる知識を身に着けた人材を送り出す取り組みを行っていること、及び2022年の創立100周年を成功裏に収めたいとのご発言があった。

ここで、司会者より、今回の初参加者8名、佐藤敏明さん(大30)、尾崎貞和さん(大31)、吉良文生さん(大33)、小俣秀記さん(大27)、児玉幸寿さん、満見毅さん(大28)、川西輝明さん(大14)、田川幸雄さん(大17)の紹介があった。

次に、議案審議に入り、役員選出、H29年度決算報告、監査報告、H30年度予算、H30年度事業計画に関する報告がなされ、賛成多数で可決された。

辻事務局長からは、30年度予算として、異業種交流会の見直しによる「会員交流会費10万円」を計上したこと、及び関西四極会会報はカラー化対応を行っているとの報告があった。進来英治監事(大23)からは会計監査報告と、今年度より現金の出入

金を分かり易くする為に「現金出納帳」を別途備え置くよう事務局に提言した旨報告があった。

各部活動状況報告はゴルフ部、囲碁部、ハイキング部(関西山麓会、四極の風の会)の順で行われ、各部の幹事より活発な活動状況についての報告がなされた。

暫く休憩の後、恒例の「フレット来夢」によるマンダリン演奏(二人の天使、糸、愛燦燦、ラデツキー行進曲の4曲)が披露され、甲斐恵子さんの素晴らしい歌声と演奏に酔いしれた。

宴会の部は、和田副会長(大24)の開会宣言及び乾杯の音頭が始まった。各テーブルは卒業回順に囲まれ和やかな歓談がなされた。

約一時間の歓談の後、恒例の「籤引き抽選会」が行われた。抽選会は、昨年同様、吉村鉄太郎さん(大21)及び小林以久恵さん(大40)の2名の司会で行われた。紅一点小林さんが当選者番号を読み上げることで進行し、更なる盛り上げをみせた。

最後は、フレット来夢のみなさんに再度登場頂き、マンダリン演奏に合わせ、全員で「校歌、逍遙歌、寮歌」を斉唱し、野中副会長の閉会の言葉のあと、昨年に引き続き、矢野眞治さん(大18)の盛大なエールが切られ、大変な盛り上がりの中のうちに散会となった。